

☆当たり前ではない「ありがたみ」

私は以前、学校以外の職場に勤めていたことがあります。もちろん給食はありません。職場の方は自分でお弁当を作って持ってくるか、近くの飲食店に食べに行くか、お弁当専門の会社に出前を頼んでいました。

それまで中学校に勤めていた私は、給食に慣れていたため、給食が出ないことが少し新鮮でした。外に食べに行ったり、お弁当を食べたりするということにワクワクしていました。

しかし、食べに行くと500円～800円くらい食事代がかかります。出前のお弁当でも一食350円～500円程でした。中学校では給食費を払っていましたが、出前のお弁当でも給食費の倍です。毎日のことですから、「ちょっともったいないな」と思い、自分で弁当を作ることにしました。妻は「私が作ってあげるよ」と言ってくれましたが、「自分で作ってみたい」という気持ちがあったので、丁重（ていちょう）に断りました。



さて、そうは言ってみたものの、これが意外に大変でした。まず、お弁当のおかずをスーパーに買いに行かなければなりません。好きなおかずばかりでは栄養が偏（かたよ）るし、同じ物ばかりでは飽きてしまいます。スーパーでウロウロしながら、何を買おうか迷ってばかりいました。当然、家に帰る時間も遅くなります。

さらに、いつもより30分以上は早起きをしなければなりません。お弁当を作るのも、なかなか面倒です。ご飯を弁当箱に詰め、冷めるのを待ってフタを閉め、冷凍食品をレンジに入れ、卵焼きを焼き、フルーツを切り…。

たまにやるのなら、良い気分転換です。しかし、これが毎日となると本当に面倒です。妻に断ったのを後悔しましたが、せっかくの優しい心遣いを断ってしまったので、言えません。結局、卵焼きは焼かなくなり、フルーツは入れなくなり、レンジで「チン」で済むおかずばかりになりました。

2年生が家庭科の夏休みの課題で取り組んだ「手づくり弁当」の資料が2階に掲示されています。そこにはお弁当の写真と工夫した点などが書かれており、どれも皆とてもおいしそうで、一生懸命に作っていることがよく分かります。お弁当作りは「意外に大変なんだな」と感じたのではないですか？ 良い経験をしましたね。

皆さんもお家の方にお弁当を作ってくださいとありますが、お家の方の愛情と苦勞を少し考えながら、作っていただくことは当たり前ではない「ありがたみ」を感じながら、おいしくいただいてほしいと思います。



☆伊勢崎佐波中学校駅伝大会 女子Aチームが県大会出場決定！

10月7日(土)に「いせさき市民の森公園」で、郡市駅伝大会(男子26チーム、女子24チーム)が開催されました。本校は、男女それぞれA・Bチームが参加しました。夏休み中から一生懸命に練習に取り組み、夏休み後も朝練や現地試走をして当日に臨みました。皆、素晴らしい走りです。結果は以下の通りです。(敬称略)

【総合】

男子Aチーム	9位	52' 55"
男子Bチーム	20位	55' 15"
女子Aチーム	6位	41' 05" (県大会出場)
女子Bチーム	19位	44' 42"

【区間賞】

男子A	大塚 蒼 (6区)	第2位	8' 27"
女子A	田中葉月 (3区)	第3位	7' 18"



☆南中生の活躍

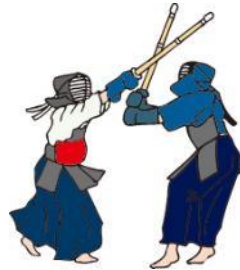
【第9回剣道指導者教室剣道大会】

「中学生男子の部」

小此木 晟那くん 優勝
高川 滝乃介くん 準優勝

「中学生女子の部」

岩田 舞さん 優勝



☆生徒会認証式



始業式の全校集会の場で、生徒会本部役員の認証式がありました。会長の鷲尾君は、「私が話している本質が伝えられるか」という不安を正直に述べながら、「自分一人ではなく、7人全員で高みを目指したい」という熱い決意を述べてくれました。

前会長となった浅見君からは、「皆さんが大変だろうと思うことも、南中が変えられるチャンスと考えた」「皆さんと歴史を変えられたことがうれしい」という言葉とともに、大きな声で感謝の気持ちを表してくれました。

認証式に先駆けて、集会が始まる前には気持ちのこもった「校歌練習」をしてもらいました。「僕たち本部役員の最後の仕事です」と言いながら、全校生徒にさわやかに声かけをしてもらいました。今まで素晴らしい活躍をしてくれた前生徒会本部役員の皆さん、本当にお疲れ様でした。そして、これからの南中を背負う新しい本部役員の皆さん、しっかりとバトンを受け継いでください。

